

「美しい四国づくり」に向けた各種取り組みについて

①美しい四国づくりの推進

- ◆美しい四国づくり委員会
- ◆「四国スタンダード」の推進
- ◆美しい四国づくりモデル事業
- ◆美しい街なみの形成に向けた取り組み（景観法等の活用）
- ◆日本風景街道の推進

【その他、関連した各種取り組み】

②観光交流の促進

- ◆「観光地域づくり実戦プラン」の取り組み

③地域と行政の協働による地域づくりの推進

- ◆ふるさと普請



①美しい四国づくりの推進

◆美しい四国づくり委員会

美しい四国づくりは、単に美しい景観づくりだけでなく、観光交流の振興による地域の活性化の効果も期待されるものであり、地域住民や企業、行政機関等の関係者が意識を一つにして取り組むべき課題である。

美しい四国づくり委員会は、あらゆる分野にわたる関係者に対してメッセージを発信していく運動機関として、また様々な地域の取組や施策をフォローしていく実行機関として、四国一体での取組を推進していく役割を果たすものである。

H17年度検討内容

○第1回委員会 (H17.9)

- ・ 四国の魅力や地域社会の現状
- ・ 四国の景観の現状

○第2回委員会 (H18.2)

- ・ 美しい四国の基本理念
- ・ 基本方針と具体事例に基づく課題
(四国を愛する人々へのメッセージ)



H18年度検討内容

○シンポジウム (H18.7月1日)

- ・ 四国内外へのメッセージの発信による啓発活動

○第3回 (H18 秋頃)

- ・ 今後の取組内容及び施策の実施
(モデルプロジェクトと表彰制度)



H19年度以降

- 継続的な取組とフォローアップ

「美しい四国づくり委員会」行動内容 (案)

- ① モデルプロジェクト
 - ② 美しい四国づくり表彰・登録制度
 - ③ 美しい四国づくり塾・講演会
 - ④ 四国ファンクラブ
 - ⑤ 四国の美100選
 - ⑥ 四国の美ワースト100選
 - ⑦ 美しい四国づくりコンテスト
 - ⑧ 我が町マップコンテスト
 - ⑨ まちの通信簿
- 等

◆「四国スタンダード」の推進

四国地方整備局と四国四県が一体となって社会資本整備・管理に関する共通のルールを策定。四国の特性や社会資本整備の課題を踏まえ、景観の保全と創造、自然・環境の維持と創出、安全・安心でいきいきとした暮らしの実現を目標に、共通のルールに基づく取り組みを実施し、個性ある豊かな四国づくりを推進する。

<主な取り組み>

◇多自然型川づくり

◇間伐材を利用した木製防護柵の設置

◇景観と親水性に配慮した港湾・海岸づくり

◇公園内における間伐材等の利用

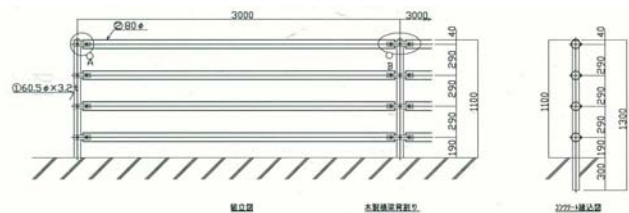
【事例】

●間伐材を利用した木製防護柵の設置

歴史的・文化的景観、自然景観など、木製防護柵が背景の景観になじみやすいと考えられる道路（車道・歩道）において、四国産の間伐材を使用した木製防護柵の設置を推進する。



歩行者自転車転落防止柵（構造例）



【H17設置の事例】
一般国道33号
愛媛県上浮穴郡久万高原町

四国地方整備局道路部制定
「四国木製防護柵仕様書（案）」より抜粋

【事例】

●多自然型川づくりの推進

生活様式の高度化、農業形態の変化等に伴い悪化傾向にある河川環境の再生を図り、河川本来の自然特性を取り戻すための河川環境整備を推進する。

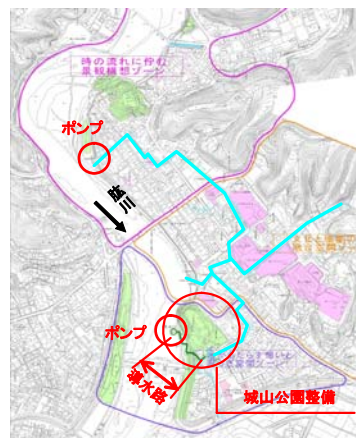


◆美しい四国づくりモデル事業

積極的に良好な景観形成を行うため、事業実施にあたっての市町村等の地域との協働・連携や将来的に地域による自主的な維持管理が予定されている箇所をモデル事業とし、積極的に美しい四国づくりを推進する。

●大洲 水・緑・文化のまちづくり（H18新規）

水と緑のネットワーク事業、公園整備（城山公園）により、伊予の小京都大洲にふさわしい水辺環境の整備とうるおいと魅力のある町並みづくりを実施する。



●重信川の自然再生事業

多自然型川づくり・従来植生を使ったコンクリートの見えない川づくりにより、松原泉とビオトープの再生を推進する。

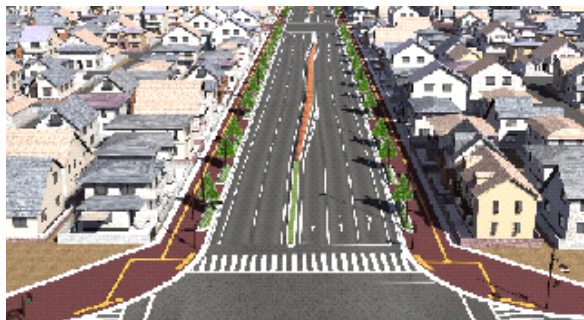


●土佐道路事業（一般国道56号）

歩道舗装、街路樹、防護柵の色彩等を区域内の事業で統一し面的な景観を整備する。



街路樹



土佐道路潮江地区完成イメージ図



歩道のカラー舗装

◆ 美しい街なみの形成に向けた取り組み（景観法等の活用）

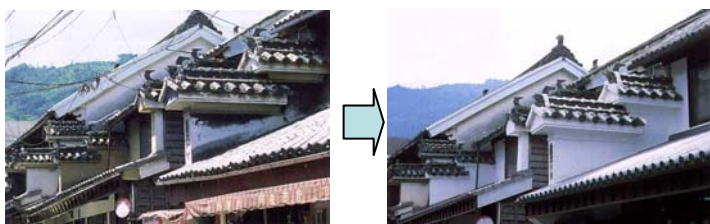
地域の特性を活かした良好な景観の形成を図るため、まちづくり交付金、街なみ環境整備事業等を活用するとともに、景観計画の策定等景観法の活用に向け、以下の取り組みを推進する。

□ 歴史・文化や街なみ等を活かしたまちづくりの推進

市町村の創意工夫、地域住民との協働による地域固有の歴史・文化や美しい街なみ等を活かしたまちづくりを総合的に支援する。

【徳島県つるぎ町貞光本町地区（街なみ環境整備事業）】

修復された「うだつ」



【徳島県阿南市（まちづくり交付金）】

発光ダイオードを活用した「ひかりのまち」の演出
・富岡商店街



【愛媛県内子町内子地区（街なみ環境整備事業）】

修景整備された街なみ（平成17年度完了）



うしきじょうし
・牛岐城址周辺公園



愛媛県内子町への観光客の推移

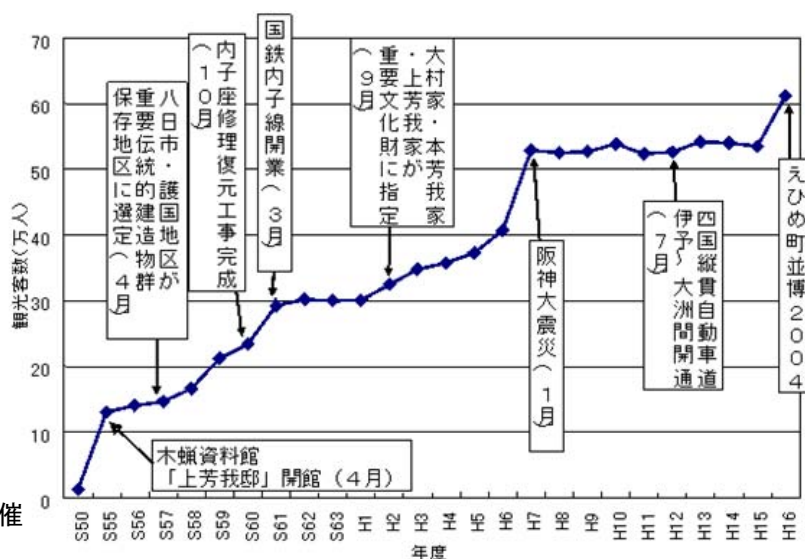
昭和50年度 1.3万



平成16年度 61.2万人
（約47倍に増加）

・昭和57年 内子町 八日市・護国地区重要伝統的建造物群保存地区に指定

・平成16年 えひめ街なみ博2004 開催



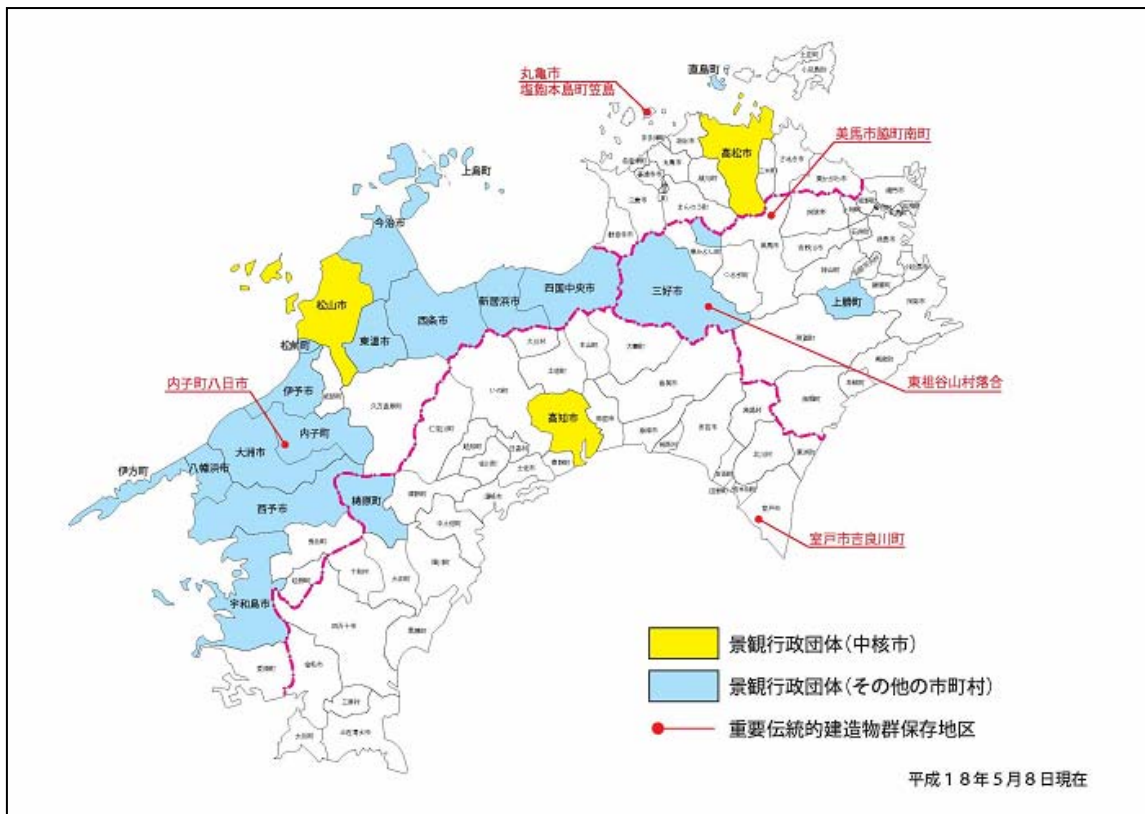
□ 景観法活用に向けた取り組みの推進

- ・ 四国地方まち景観連絡会を通じた良好な景観形成に関する情報交換
 ※メンバー：四国地方整備局建政部、四国各県及び県庁所在都市
- ・ 景観計画策定に向けた調査支援
- ・ 景観法活用に関する市町村長への呼びかけ

(参考) 四国内の景観行政団体
 (H18.5月8日時点)

- ・ 4 県
- ・ 松山市、高松市、高知市
- ・ 愛媛県大洲市外 17 市町村
- ・ 計 25 団体

景観行政団体等位置図



景観法の対象地域のイメージ

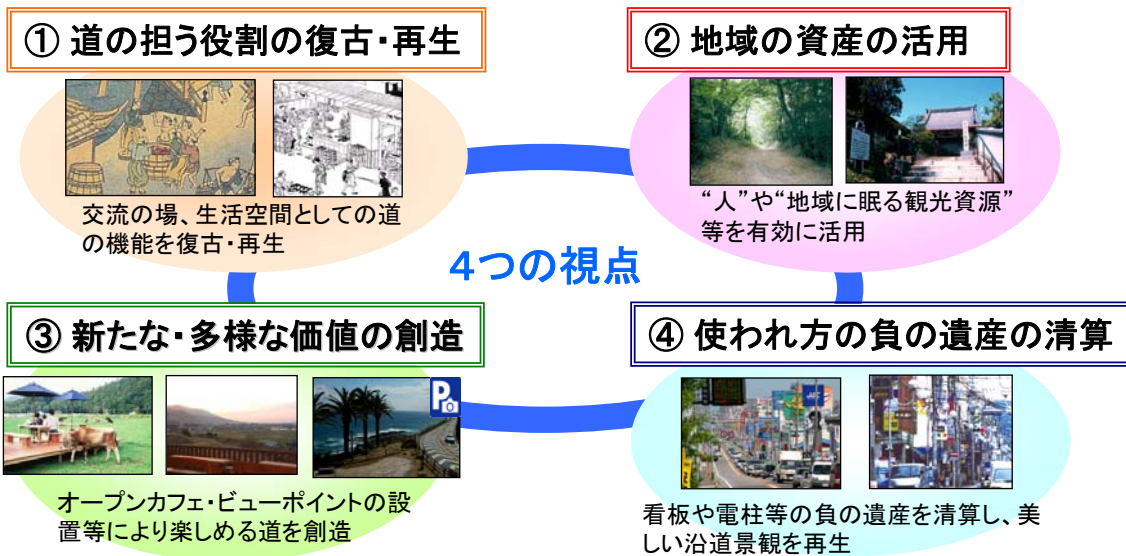


◆ 日本風景街道の推進

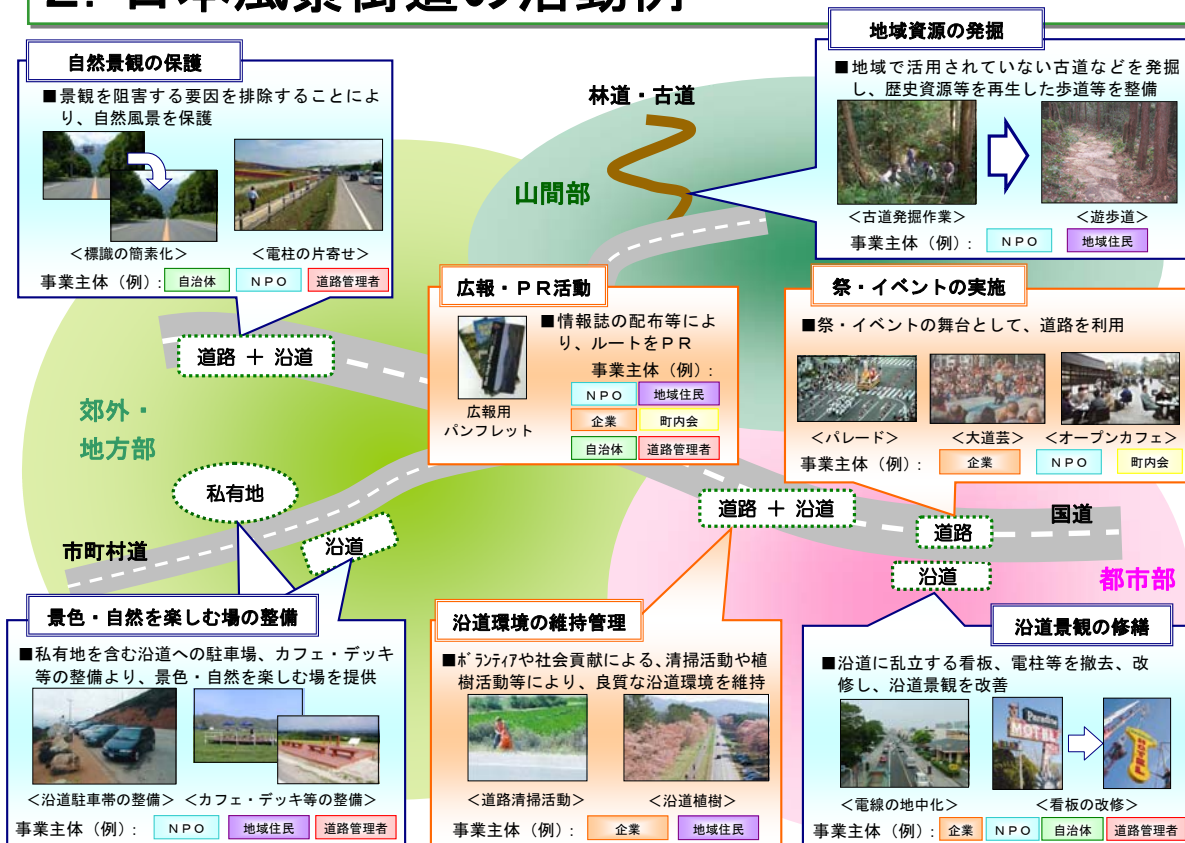
1. 日本風景街道の4つの視点

地域住民や企業と行政の協働により

- ① 道の担う役割の復古・再生
- ② 地域の資産の活用
- ③ 新たな・多様な価値の創造
- ④ 使われ方の負の遺産の清算



2. 日本風景街道の活動例



【その他、関連した各種取り組み】

②観光交流の促進

魅力ある観光地づくりを推進するため、外国人観光客の増加、地域の経済活性化等を目的とした観光を軸とする地域づくりの取り組みを積極的に支援する。

◆「観光地域づくり実践プラン」の取り組み

●「観光地域づくり実践プラン」の取り組み地域

○南予広域連携観光交流推進協議会

テーマ

「南予旅情・十町十色
～風情と人情を伝える町並みから癒しの旅へ」～

○四万十川広域観光推進協議会

テーマ

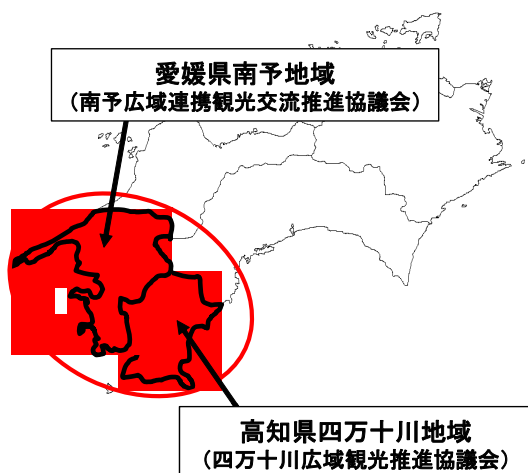
長期滞在型“川のリゾート地・四万十川”プロジェクト
～心を空っぽにするまでお手伝いします～

○こんぴら地域まちづくり型観光推進協議会

テーマ

歴史ある金刀比羅宮への参拝をコンセプトとして、魅力ある町並みの形成と文化の継承、更に地域との交流を体験しながら心が癒される交流空間の構成を目指します。

●四国西南地域の「観光地域づくり実践プラン」に基づく取り組みを支援



●愛媛県南予地域における主な取り組み

- ・歴史に根ざしたまちなみ、山河、海辺等での体験・交流プログラムの実施
- ・地域資源の掘り起こしやデータベースの作成、情報発信
- ・重要伝統的建造物群保存地区及び周辺地区の環境整備の実施

●高知県四万十川地域における主な取り組み

- ・体験型交流観光（しまんとツーリズム）の実施
- ・「ホテルの里づくり」「アユの瀬づくり」等、四万十川自然再生事業
- ・観光客が迷わず目的地に到着できる案内標識の整備
- ・地域のボランティアと行政の協働での「花観光地」づくりによる観光周遊ルートの作成

③地域と行政の協働による地域づくりの推進

◆ふるさと普請

四国各地では地域づくりや、社会資本整備のあり方について、NPOや市民団体等の手により、地域が主体となった様々な活動が進められている。

●四国ふるさと普請大会～未知普請全国大会2005～の開催

日時：平成17年11月19日～20日

場所：高松市

参加者：約750名

目的：「普請」の精神に基づき、これからの地域づくりを地域の人々と行政が「協働」を合言葉に、豊かな四国をつくりあげるため、社会資本の整備や維持・管理について、もう一度みんなで考えていくスタートとして開催。



分科会



全体会

大会を通じて、地域づくりにおける人と人の関わり、交流・連携や地域と行政の協働あり方について参加者全員で共通認識を得ることができた。この共通認識を四国内はもとより、四国から全国へアピールし、将来世代へ継承されるよう、“四国ふるさと普請宣言”を行った。

“四国ふるさと普請”宣言

- 1つ ふるさとを愛し、ふるさとの良さを見つけ、ふるさと自慢を発信しよう。
- 1つ 四国の歴史・文化を含めた魅力資源を再発見し、美しい四国を育てよう。
- 1つ 四国の山・川・海・森と交流・連携し、四国の未来を見つめよう。
- 1つ お互いの活動をたたえ合い、新たな活動へつなげよう。

平成18年度以降の取り組み

大会の精神を引継ぎ、四国の社会資本整備のあり方や地域づくりについて、NPOや市民団体等との直接交流により、四国の活性化、魅力向上のための連携のあり方やそれらの推進に向けた意見交換などを行うとともに、地域の人々とともに考え、ともに創る「将来の四国」自立する四国」を目指した取り組みを進める。

◎ 具体的な取り組み

- ・ 大会の継続（交流・連携方策）
- ・ 情報共有・発信
- ・ 講座・勉強会の開催